



ふじもと かな
藤本 佳奈さん (13歳)
[鉄砲小路]

- 趣味
お菓子作り
- 頑張っていること
勉強
- 将来の夢
医療関係につきたい
- 家族に伝えたいこと
いろいろありがとう

菊陽人 りさーち



「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。

注) 掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。



のぐち はると
野口 温斗さん (10歳)
[馬場楠]

- 趣味
音楽をきくこと
- 自慢
英検5級に挑戦中!
- 将来の夢
プロ野球選手
- 家族に伝えたいこと
成人じゃないけど、ありがとう

ゆ た かな 心 を は ぐ く む 人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.20】

深く傷つけられた自分の体験を率直に全校生徒に語ることで周りの偏見を指摘し、豊かな関係へと結実させていく勇気ある生き方に感銘を受けます。また、温かい励ましと勇気を与え、心ない言動は人の心を痛めつけ自由を奪う刃にもなっていることがこの作文でわかります。
*作者の学年は前年度の在籍学年となります。

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

私の思い・願い

武蔵ヶ丘中3年 村野 由佳

私は二年生の二学期頃、武蔵ヶ丘中学校に転入してきました。それまでは佐賀県にいたのですが、一年生の二学期から学校に行けなくなり、不登校でした。私にも悪いところがあったかもしれないが、たくさん嫌な事をされたり言われたりしました。

私は生まれつきアトピー性皮膚炎という病気で、体中がかゆくて仕方ありませんでした。前の学校の人は、私が首や足をかいているのを見ると、それを真似したり、できた傷を見て、「あんなふうにはなりたくない。」と言ったりしました。その時は、いつも言われていたので、気にしないように知らん振りしていました。

武蔵ヶ丘中学校でも同じようなことを言われたことがあります。バイキンみたいにあつかわれたこともあったし、廊下ですれちがっただけで嫌がられたりしました。「あー、まただあ」と思っただけで嫌な気分でも、言っても無駄だと思っただけで何も言いませんでした。佐賀にいたとき、先生に訴えたことがありました。周りの人は謝ってくれたけれども、本気だと思えなかったし、その後クラスの人とうまくいけなくなりました。このようなことがあったので、私は何も言いませんでした。

武蔵ヶ丘中学校でも嫌なことはありました。でも学校に来ることが出来るようになりました。友達が出来ました。いろいろな話が出来ました。友達が出来たからです。何かあったときに相談にのってくれる人たちがいるからです。今までは我慢してきました。一学期の人権学習で「オールロマンズ事件」について学習しました。その時、いじめや差別は黙っていたら解決しないということを学びました。そして校内人権集会で発表しました。発表する前は心配でした。発表したら、そのことでもつと嫌なことを言われ、ひどくなるんじゃないかなという不安があったからです。発表しようかどうか迷っているときに、一人の友達が、「応援するから!」と言ってくれました。また、発表する前の日に、「発表しても大丈夫かな。」とお母さんに話しました。もやもやしていた緊張がなくなりました。そのときお母さんに、「とりあえず発表してみよう、理解してくれる人が一人くらいは絶対にいると思うから、そういう人たちに大切にしていきたい。」と励まされました。発表した後も同じように言われました。



▲校内人権集会

私がアトピー性皮膚炎という病気なのは私が悪いわけではありません。でも私の母は時々、「アトピーに産んでごめんね。」と謝ります。逆に私は、「アトピーに生まれてごめん」と思います。体のことではないけれど、私に謝る母を見ると、もつときついんです。私や母がこういう気持ちでいることを、いろいろな言っている人や、してくる人にわかってほしいと思います。

校内人権集会で、全校生徒の前で発表するのは、自分のことを話すので正直辛かったし、これを聞いた人達のことを考えたら、とても不安でした。でも、集会が終わってすぐに私のところに来て、「色々あるけど、何かあったら何でも相談してね。」と言ってくれる人がいました。私はとても嬉しかったです。こんなにも私のことを考えてくれる人がいるなんて、幸せだと思いました。

発表する前はとても不安だったけど、私のことを応援してくれたり理解してくれたりして、今でも仲よくしてくれている人もいます。私はこんな友達にめぐりあえたことを幸せに思うし、大切にしていかなければと思いました。発表して母から、「自信にはなったんじゃない?」と言われました。確かに、少しだけでも、しっかりと自信になったような気がします。

菊陽句会報

きくよう文芸

数珠玉や昔むかしの友の顔	坂本百合子	秋晴れや杖曳きつも投票す	吉野 早苗
さみしさは野径に忘れ草の花	田中 郁子	星ぼしのホツホツと去る朝の月	井上久美子
秋思ふと紫煙くゆらす風の丘	村田 正三	組板の音爽やかに朝陽	宮川ユキエ
金木犀彩変はらずにこぼれ散る	井 子文	独り居に笑ひの戻る敬老会	日高 妙子
つやと香をまず神前に今年米	財津 早雪	代打の子この一発や鯛雲	曾我 育代
うす紅葉くるりあやつる蜘蛛の糸	原野レイ子	蜘蛛の糸供華切る度にまとはりぬ	曾我トモ子
とんぼうや遭難碑向きあはれなる	西村ひとえ	招かれて自ら余興敬老会	紫藤 祥子
次に生る命にたくし散る紅葉	力 幸子	水澄むや民話の里の子もり唄	村上 朋子
群青の秋空深し忠魂碑	寺尾千代子	廃校の校庭に咲く萩の花	合志 重子
焼きたての秋刀魚で祝ふ誕生日	高橋 孝子	ちぎれ雲空の高さよ秋立てり	野口 今史
金木犀かすかに香る初勝利	佐藤 航	ふり返る父母の人生敬老日	松橋 強
栗飯の皮剥き手伝い手が痛い	佐藤 健	釣瓶落し釣果見せ合ふ子等の声	佐藤 澄世
みはるかす菊陽平野稲熟るる	佐藤 節		

短歌会

柚子の実の色付きはじめしその庭を今年も見ずに友は過しぬ
山裾の荒地に青草茂る中真白き花の水芭蕉あり
夏の夜に開くと聞けりその花は勢い伸びて葉より垂れ咲く
幼き日遊びし里の川に立ち流れのゆるき水に手を差す
ひつじ雲浮べば秋の深まりて何時しか空は青く澄みたり

今村 貞子
岡本まさこ
菊川あさみ
下田 久子
森 敦子